

# 警城時報

行發日七十  
編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 警城時報社  
發行所 警城時報社  
一部金貳圓 一ヶ月金廿圓  
廣告料 一行十四字詰五十錢  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 勿來、久濱間の町村長が 大舉國道改良の陳情

國道六號線勿來、久濱間國道改良を續けてゐる。良は地元民多年の希望で沿道各町村に於ては期成同盟會を組織し實現に努力して來たが、昨年は内務省で四十八萬圓を計上したが、大藏省で削減され十四年度、十五年度十萬圓宛で局部的の工事を續けてゐるが、本年度は是非實現を見たいと去る十三日來會長青沼(平市)副會長木村(大浦村)古川(植田町)外關係町村長等が仙臺土木出張所及び縣の諒解運動を行ひ十六日主務省に陳情のため上京し猛進運動

## 青年學校 查閱日割

本縣青年學校の查閱日割は縣廳司令部より發表されたが、地方關係は次の通りである(括弧は查閱場)  
▲江名、豊間(豊間)十一月六日  
▲玉川、泉、鹿島(玉川)七日  
▲小名瀧(小名瀧)八日  
▲日暮(日暮)九日  
▲湯本(湯本)十日  
▲平市(平市)十一日  
▲湯本(湯本)十二日

## 遠洋漁業船の 船上青年學校

青年學校の義務制と共に漁夫の教育にはその後時化時を脱つた漁業青年學校の設置なども考案されてゐるが、これは比較的沿岸漁夫のためのもので、數ヶ月海上で暮らす遠洋漁船漁夫としてはその利用も出來ず居つたが、江名町安波丸外四隻は船上教育をこの際認可の中出たが、同船等に現在乗込んでゐる青年漁夫は五十名に上り、この教育の認可は各方面から注目され本縣遠洋漁業者も相當に關心を以つてゐる模様である

## 紙芝居の 脚本募集

貯金局では左の如く郵便貯金奨励資料を懸賞で募集してゐる  
▲紙芝居脚本  
1. 内容、後の貯金奨励に於て児童に於て一般の對象とせるもの  
2. 制限、二十場面内外とし一場面に文字或は畧畫にて簡單なる構圖の指定を爲すこと  
3. 審査、日本教育紙芝居協會

## 感心な白木巡査 戦死者の慰靈に焼香

小名瀧町駐在の白木巡査は十六日(舊盆入り)同町の戦死者遺族宅を訪れ線香一箱宛を送つたが同巡査は今迄も數回慰問してをり感謝を集めてゐる

## 水上班開校式

四倉町漁業組合青年學校水上班の開校式は十七日午前九時より組合廣場に於て舉行した

## 蔬菜立毛品評

市農會では此種夏蔬菜の立毛品評會を催した、入賞者左の如く  
賞状授與式は二毛作の分と共に今秋行はれる  
▲一等馬鈴薯林未代守、ナス吉田文助  
▲二等胡瓜松本光一、ナス高田彌内、馬鈴薯藤葉義雄、石井爲治  
▲三等ナス鈴木三郎、大和田

### 一、口腔外科 二、レントゲン科 中野齒科 平市町(電話五〇九) 院長 中野 直次

賞金、入選一篇 三百圓  
佳作三篇 五十圓宛  
▲エッセイ讀物  
1. 内容、郵便貯金の利便、特長、効果等を巧みに取入れたるもの  
2. 制限、四百字詰原稿紙二十枚以内  
3. 審査、佐々木邦

## 石炭を種に 四千圓の詐欺

本館泉村生目下四倉町本町ア炭商小野政太郎、茨城縣筑波郡一ノカ一小倉山政信(四三)は本年東條町賣炭店片寄政司等から約二月頃双葉郡野村廣野第二坑四千圓の賣炭詐欺を働いたこと大久村大久炭礦の石炭を送るとを自白したが、尙余罪追究中で稱し東京市日本橋區賣炭商吉岡ある。

## 今明兩日にかけて 鑛山野球と庭球

常磐各礦選手出場  
第八回東北鑛山野球、庭球大會は既報の如く十七、八の兩日仙臺市瀧橋球場、二中球場及び市大法文コートで舉行されるが、第一日組合せは次の如く決定した  
▲野球  
1. 好間炭礦一日石鑛業所  
2. 入山炭礦一日細倉鑛山(二中球場)  
3. 尾去澤鑛山一日中炭礦  
▲庭球  
(A班)  
高玉、尾去澤、花岡、松尾、尾去澤、尾去澤、尾去澤、尾去澤  
(B班)  
日石、細倉、大貫、赤井、赤井、日石、細倉、大貫

## 山口彌一郎氏に遭ふ

山口彌一郎氏に遭ふ  
山口彌一郎氏に遭ふ  
山口彌一郎氏に遭ふ

## 簡閉点呼豫習

簡閉点呼豫習  
簡閉点呼豫習  
簡閉点呼豫習

## 諸橋久太郎氏 南洋視察

諸橋久太郎氏南洋視察  
諸橋久太郎氏南洋視察  
諸橋久太郎氏南洋視察

### 社告

明後十九日舊盆十六日工場員慰安のため臨時休刊仕候

### 平驛七月成績

平驛に於ける七月貨物の成績は引續く幅較で前年同期の收入一萬五千九百圓より八千二百五圓を増加する二萬三千二百九十六圓を上上げた、當月の發送並びに到着は  
發送六九八六噸(三九四八三〇三八噸、到着六一三二五〇一三七七五)二五五〇噸、括弧内前年同期

### 南洋視察

上院議員諸橋久太郎氏は前田利為侯を團長とする南洋諸島視察團十一名中に加はり二十二日午後三時東京驛發、二十三日長崎出帆の郵船加茂丸で出發すると到着は  
發送六九八六噸(三九四八三〇三八噸、到着六一三二五〇一三七七五)二五五〇噸、括弧内前年同期

### 諸橋久太郎氏南洋視察

諸橋久太郎氏南洋視察  
諸橋久太郎氏南洋視察

### 簡閉点呼豫習

簡閉点呼豫習  
簡閉点呼豫習

### 山口彌一郎氏に遭ふ

山口彌一郎氏に遭ふ  
山口彌一郎氏に遭ふ

### 鑛山野球と庭球

鑛山野球と庭球  
鑛山野球と庭球

### 石炭を種に

石炭を種に  
石炭を種に

### 感心な白木巡査

感心な白木巡査  
感心な白木巡査

### 水上班開校式

水上班開校式  
水上班開校式

### 紙芝居の脚本募集

紙芝居の脚本募集  
紙芝居の脚本募集

### 遠洋漁業船の船上青年學校

遠洋漁業船の船上青年學校  
遠洋漁業船の船上青年學校

### 勿來、久濱間の町村長が

勿來、久濱間の町村長が  
勿來、久濱間の町村長が

### 幕末外交の葉

(七) 早川成治  
安政六年己未(一八五九年)三月  
十七日、近衛公府司公を齋居一條公久我公を齋居隱居、萬里小路公を齋居となす。  
廿三日、米船浦賀に來り英船來り發をなすやも知れざる旨を云ふと云ふ。  
四月  
朔日、蘭船一隻品川に來る蘭使を長慶寺に置き六日去る。此月獨船長崎に來り交易を請ふ。  
五月  
廿六日、鷹司公父子近衛公三條公を落○せしむ。  
同日、英船一隻品川に來る、六月十二日江侯邸にて應接し本條約を結び公使アールコックを東禪寺に置き十四日去る。  
廿八日、六月より横濱長崎函館にて米佛英蘭五ヶ國の交易を許すに付賣買勝手の旨達あり  
六月  
此月より外國商船横濱に入る者多し。  
八日、魯船神奈川に來る。十八日より品川に入る凡そ七隻ムラビヨフ來る、廿三日本條約を結び八月九日一袋を留めて去る。  
八月  
十二日、佛船品川に來る。本條約を結び公使ヘルクルを濟海寺に置いて去る。  
十月  
七日、飯泉宮内並に處士頼三樹三郎福井藩藩本左内を死刑大學寺内六物空萬武藏金原村百姓八郎を遠島其餘宮及公卿の諸臣等二十餘人を追放等となす。  
廿七日、秋澤吉田寅次郎を死刑、鹿兒島藩日下部裕之進阿部十次郎家來勝野森之介を遠

島、其餘和歌山水戸宇和島高松藩士等及び藤森泰介等十三人を追放等となす。  
廿八日、水戸藩山縣藩八郎秋信之介等及び鹿兒島高知姫路土浦江尾山藩士等十二人を齋居となす。親王公卿諸侯の慎、諸大夫並に諸藩士等の刑罰此條に至る迄世代を戊午己未の難と稱す皆靈世の誠を以て罪を護る者なり。  
十二月  
廿九日、龍野侯邸にて英人應接馬三千匹を見た云ふ。此年英佛にて海を伐つての攻具を修む此夏清人英人を襲ひ之を天津に收るを以てなり。

出前迅速  
御料理  
むぎとろ  
平市紅小路 電話四八八

債券・公債  
兩替・金融  
多田井質店  
平市大工町 電話五九一

金融無盡  
簡易貯蓄  
啓城無盡  
趣味貯蓄  
出張所縣内各町

暑中皇軍の武運長久を祈り  
統後各位の御奮闘を祈る

縣會議員 關内正一

縣會議員 赤津庄兵衛

縣會議員 蓮沼龍輔

縣會議員 高橋龜松

平市會議員 磐城水産工業株式會社

責任 平市板金加工工業組合  
平市大町四三 電話七七三番

衆議院議員 星

平市 工藤鐵工場

平市會議員 多田井笑次郎

吉村安治郎  
佐藤幸太郎  
山野邊義治  
菅本庄治  
大谷武雄

阿部政右衛門

平市中央通り 電話六六六番  
西洋料理 金 春 高崎松三

金 成國雅  
平市下河原町 電話二六六番

平市 工藤鑄工所  
谷屋吳服店

神谷村長 佐藤庄太郎

江名町長 作山一枝

**四倉海水浴場案内**  
七月十四日各店一齊開業(新町海岸)  
◇統後の護りは健康から  
健兒を作れ! 四倉の海にて!!  
◇東北一の海水浴場!!  
水道の設備が、あります。  
◇海水浴には是非  
安全なる海の四倉へ

**紫山流盤景陳列**  
宗家小松燦雨先生來平指導獎社より  
受講者數名師範免許受領披露のため  
一、期日 八月十七、十八、十九三日間  
(舊盆十四、十五、十六日)  
一、場所 平市三丁目丸又方  
平市白銀町  
高橋昂山社中

山料理  
天婦羅  
平市三丁目  
電話二二二番

電話開設  
四倉局下 電話二十九番を  
開設致しました  
金 松本海産物店  
四倉町

賣店順(東より)  
海樂賣店  
池田屋賣店  
米好賣店  
なべや賣店  
竹松賣店  
清水屋賣店  
大平館賣店  
初音賣店  
時局柄勉強第一

洋酒と喫茶  
麗人のサービス  
氣分本位の店  
タイラギンが通り  
グリルバックス  
電話二二〇番

氷の御用は  
電話二一三番  
魚問屋へ  
鯉節製造販賣  
(日本生命平代理店)  
平市四丁目  
志賀盛榮商店

和文タイプライター  
最新事務用品類  
文具房具一式  
製圖並に測量用品  
謄寫版並に附屬品  
藤 森  
電話三三三番  
電話一七五番  
仙臺(會商事務所)

御婚禮、御會食、御宴會  
尚ほ季節料理  
平市田町 電話一七一番  
料理部  
女中さん數名至急入用  
日優遇致します